

空港臨海部 グランドビジョン 2040

< 概要版 >

多様な人々が交流・挑戦する“未来型創造都市”
～世界へはばたく空港臨海部～

令和4年3月 大田区

空港臨海部グランドビジョン2040の策定にあたって

空港臨海部は、日本の製造業の基盤を支える工業集積地であるとともに、首都圏の一翼を担う物流の一大拠点となっています。また、都心部としては貴重な公園・緑地など自然資源も多く、憩いの場・賑わいの場として、更なる魅力の向上が期待されています。

大田区では、平成22年（2010年）、羽田空港の再拡張・国際化が目前と迫る中、2030年の羽田空港とその周辺の地域における目指すべき将来像を定めた「空港臨海部グランドビジョン2030」を策定し、空港臨海部の更なる発展に向け、様々な事業に取り組んでまいりました。

策定から10年余りが経過し、この間には、羽田空港の再拡張、国際線の増便、令和島の誕生、HANEDA GLOBAL WINGSの開発、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、空港臨海部を取り巻く状況は大きく変わりました。

また、令和2年に世界はもとより日本国内でも猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らし、経済にも大きな影響を与えたところです。一方で、新型コロナウイルス感染症は、自動運転、AI、通信技術などデジタル社会の形成を加速的に進め、私たちの日常生活の質を高めるきっかけにもなりました。

このような状況を踏まえ、2040年の空港臨海部を見据えたまちづくりを推進していくために、「空港臨海部グランドビジョン2040」を策定いたしました。本ビジョンでは、「多様な人々が交流・挑戦する”未来型創造都市”」を将来像に掲げ、世界へはばたく空港臨海部を目指すとしています。

空港臨海部で働く人・訪れる人にとって更に魅力的な場所となるよう、区民の皆様、企業の皆様、国や東京都をはじめ、関係機関と連携・協力しながら、本ビジョンを推進してまいります。

最後に、本ビジョンを策定するにあたり、ご尽力をいただいた専門部会の委員の方々をはじめ、区民の皆様、企業・学生の皆様、様々なご意見をお寄せくださいました多くの方々に対して、心より感謝を申し上げます。

令和4年3月

大田区長 松原 忠義

目次

1. 空港臨海部グランドビジョン2040の概要	1
2. 現況整理	4
3. 都市部における2040年の将来動向	6
4. 空港臨海部の強みと目指すべき方向性	7
5. 空港臨海部の将来像	8
6. 将来像の実現に向けた基本方針	10
7. プロジェクト	14
8. 実現に向けて	21
参考資料 1 空港臨海部グランドビジョン専門部会の実施経過	22
参考資料 2 用語集	23
本ビジョン中の図・写真等の出典一覧	25

1. 空港臨海部グランドビジョン2040の概要

策定の背景

- 大田区では、平成22年3月に、「空港臨海部グランドビジョン2030」（以下、「ビジョン2030」という。）を策定し、空港臨海部の発展に向けて、様々な事業に取り組んできました。
- ビジョン2030策定から10年余りが経過し、この間には、羽田空港の再拡張・24時間化、国際線の増便、HANEDA GLOBAL WINGS（羽田空港跡地）の開発、中央防波堤埋立地帰属問題の解決（令和島の誕生）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、空港臨海部を取り巻く状況が大きく変容しています。
- 令和2年（2020年）2月頃より日本国内でも新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るい、3密（密閉・密集・密接）の回避、テレワーク、時差出勤などの新しい生活様式に向けた模索が続いています。
- このような背景を踏まえ、大田区では、ビジョン2030を改定し、新たな空港臨海部のまちづくりの指針となる「空港臨海部グランドビジョン2040」（以下、「ビジョン2040」）という。）を策定しました。

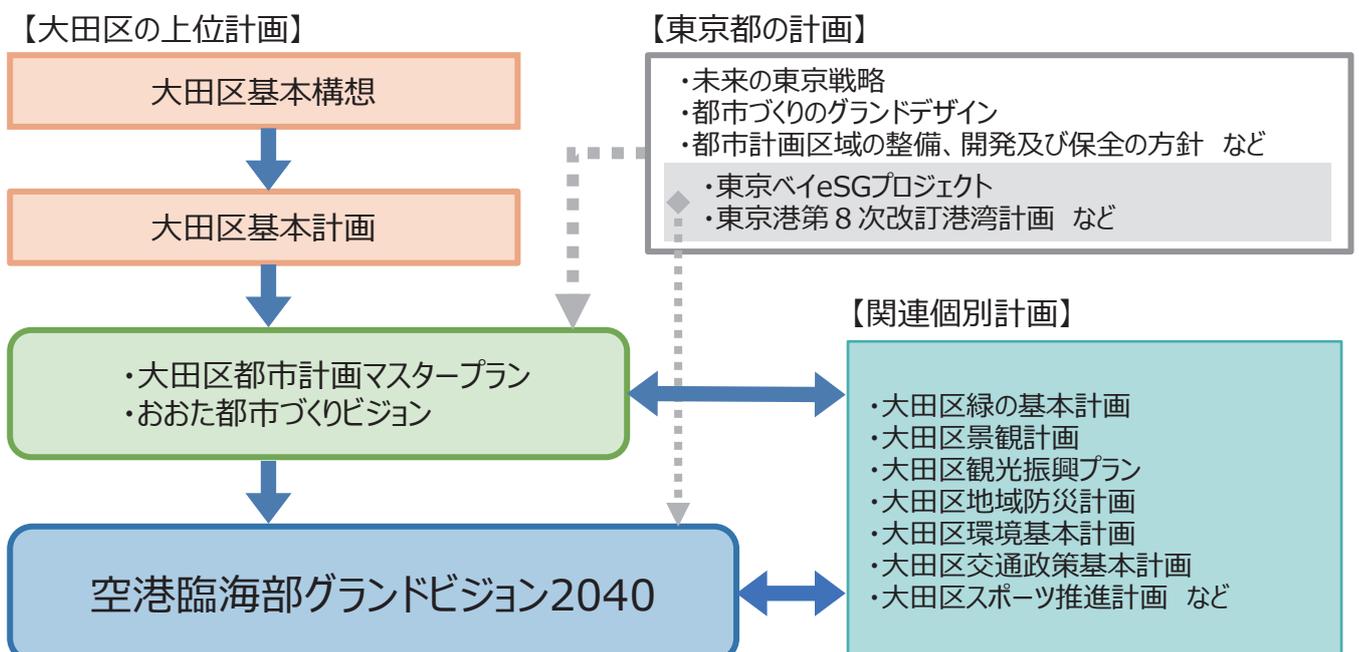
ビジョン2040の位置付け

- ビジョン2040は、「大田区都市計画マスタープラン」や「おおた都市づくりビジョン」に基づき、大田区空港臨海部が2040年に向けて目指すべき地域の姿を示すものです。
- ビジョン2040の策定にあたっては、大田区の上位計画に加えて、東京都の計画や大田区の関連する個別の計画、大田区の産業動向を踏まえて計画しています。

目標年次

- ビジョン2040は、平成22年3月に策定したビジョン2030に示されたプロジェクトの進捗や成果を踏まえ、社会情勢が大きく変わると想定される概ね20年後である2040年を目標年次とします。

【空港臨海部グランドビジョン2040の位置付け】



空港臨海部とは

- 東京都心から川崎・横浜に至る地域の中に位置する空港臨海部は、日本の製造業の基盤を支える工業集積地であるとともに、広域的な交通や物流の要衝であり、首都圏の発展の一翼を担っています。
- 都心部としては貴重な公園・緑地などの緑資源、海・河川などの水資源があり、憩いの場・賑わいの場としても更なる充実が期待されています。
- ビジョン2040では、埋立島部（平和島、東海、昭和島、京浜島、城南島）とその内陸部の一部、羽田空港、中央防波堤埋立地の一部（令和島）を対象範囲とします。

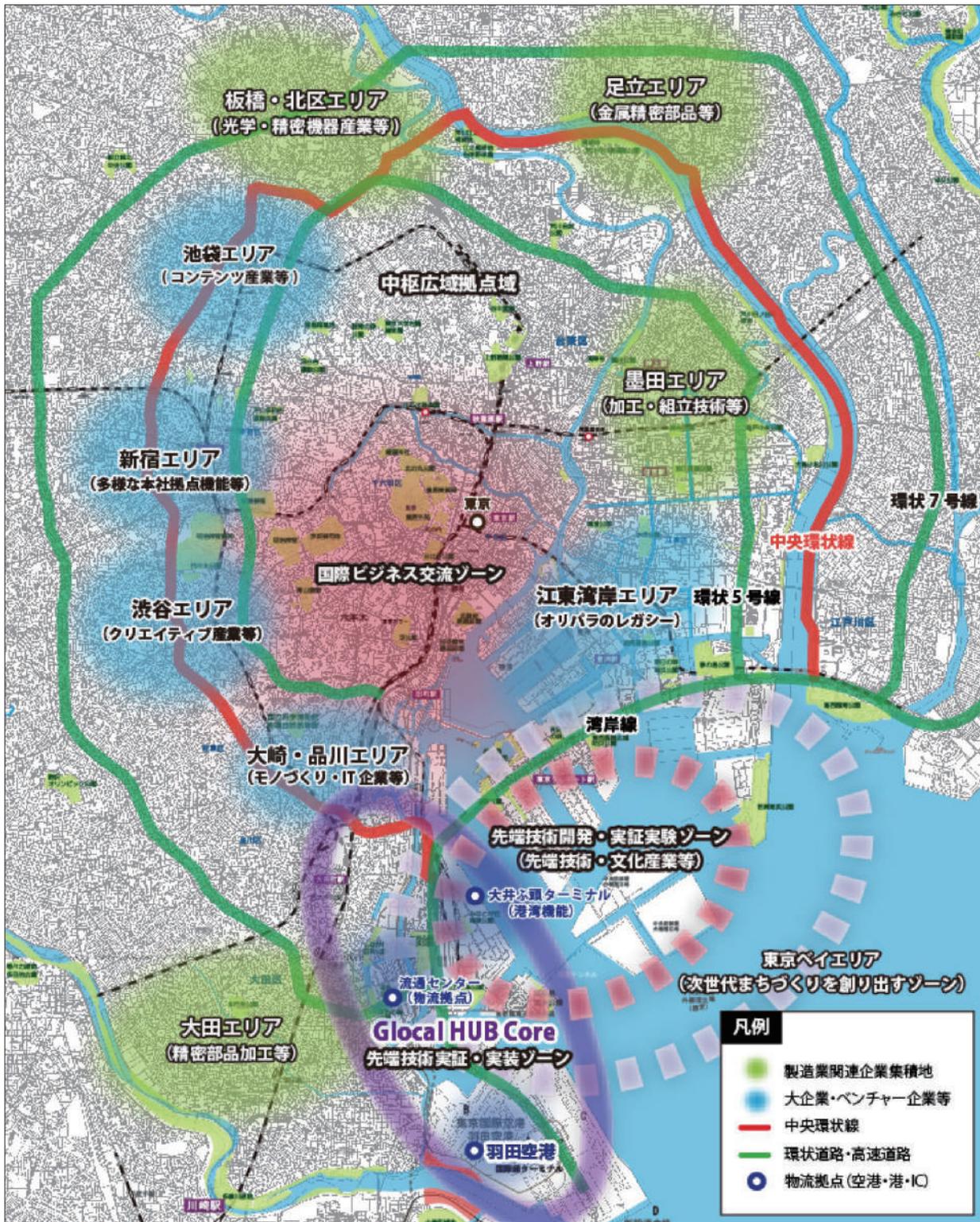
【ビジョン2040の対象範囲】



空港臨海部の位置付け

- 空港臨海部は、エリアごとに様々な特性の産業が集積する東京都心部の南端に位置しており、環状線を軸とした広域ネットワークにおいては、陸・海・空の交通結節点に位置付けられています。
- 羽田空港の機能強化による国際化の進展、令和島周辺には新たな開発可能性のある土地が存在するなど、産業面を中心に高いポテンシャルを持つ地域と言えます。

【東京都心部にみる空港臨海部の位置付け】



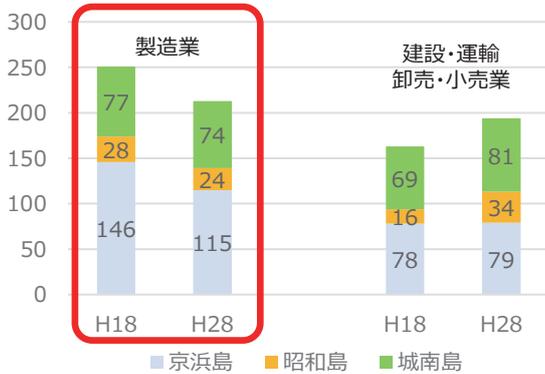
出典) 臨海部開発構想研究会「Tokyo Glocal HUB Core構想」

2. 現況整理

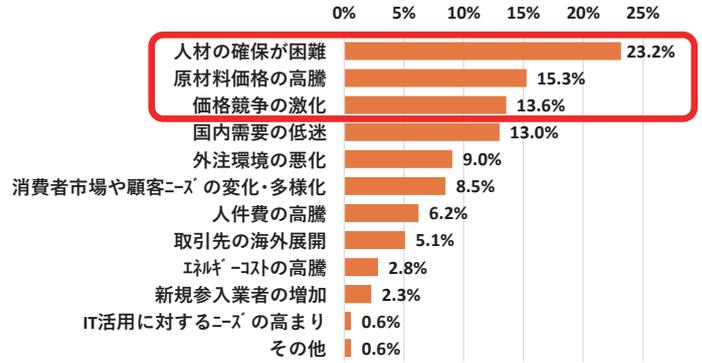
各分野における空港臨海部の現状

1) 産業の動向

- 昭和島、京浜島、城南島における製造業企業数は、平成18年から平成28年にかけて約15%減少している。
- ものづくり産業の経営課題は、人材確保が困難、原材料価格の高騰、価格競争の激化などが挙げられている。



出典) 経済センサス (活動調査) 事業所・企業統計調査より作成



出典) 「大田区ものづくり産業等実態調査」(令和元年度) より作成

2) 土地利用/地価の現況

- 羽田空港や高速道路、港へのアクセスの良さが影響していることから、東京湾の他地区と比べて地価が総じて高い (川崎側と比較し約2倍)。また、京浜島・東海の地価単価の伸びは、ここ10年で約1.3倍である。

3) 交通

- 三環状道路、主要な国道、臨港道路の整備が進んだことに加え、物流拠点の強化が図られたことにより、内陸部と島部を結ぶ「東西交通」の交通量はますます増加する可能性がある。
- 島部へのアクセスはバスが主流。平日勤務時は増便により輸送力不足に改善が見られたものの、渋滞があること、休日などの運行本数が少ないことから、利便性が高いとは言えない状況である。

系統	増減便数	増便後便数
森45 大森駅発便 大森駅—レジャーランド平和島—流通センター前—京浜島・昭和島循環	大森駅発 6時台 1便 増 7時台 1便 増	17便/日
森24 46 京浜島一番地発便 大森駅—平和島駅—流通センター前—京浜島循環	京浜島一番地經由 16時台 2便 減 17時台 2便 増 20時台 1便 増	18便/日
森24 46 大森駅発便 大森駅—レジャーランド平和島—流通センター前—京浜島循環	大森駅発 16時台 2便 減 17時台 1便 減 18時台 1便 増 20時台 1便 増	25便/日

出典) 京浜急行バスホームページ資料 (平成30年度) より作成

4) 観光/自然環境/スポーツ

- 大規模な公園・緑地、スポーツ施設、工場・企業見学が行える施設など魅力ある観光資源が点在している。
- 空港臨海部の主な公園・緑地面積は、大田区内の公園・緑地面積の約43%を占める。

該当範囲	面積	面積割合
空港臨海部の主な公園・緑地	約130.53ha	42.79%
内陸部の公園・緑地	約174.53ha	57.21%
合計	約305.06ha	100%

出典) 大田区資料 (令和3年度) より作成



大森東水辺スポーツ広場

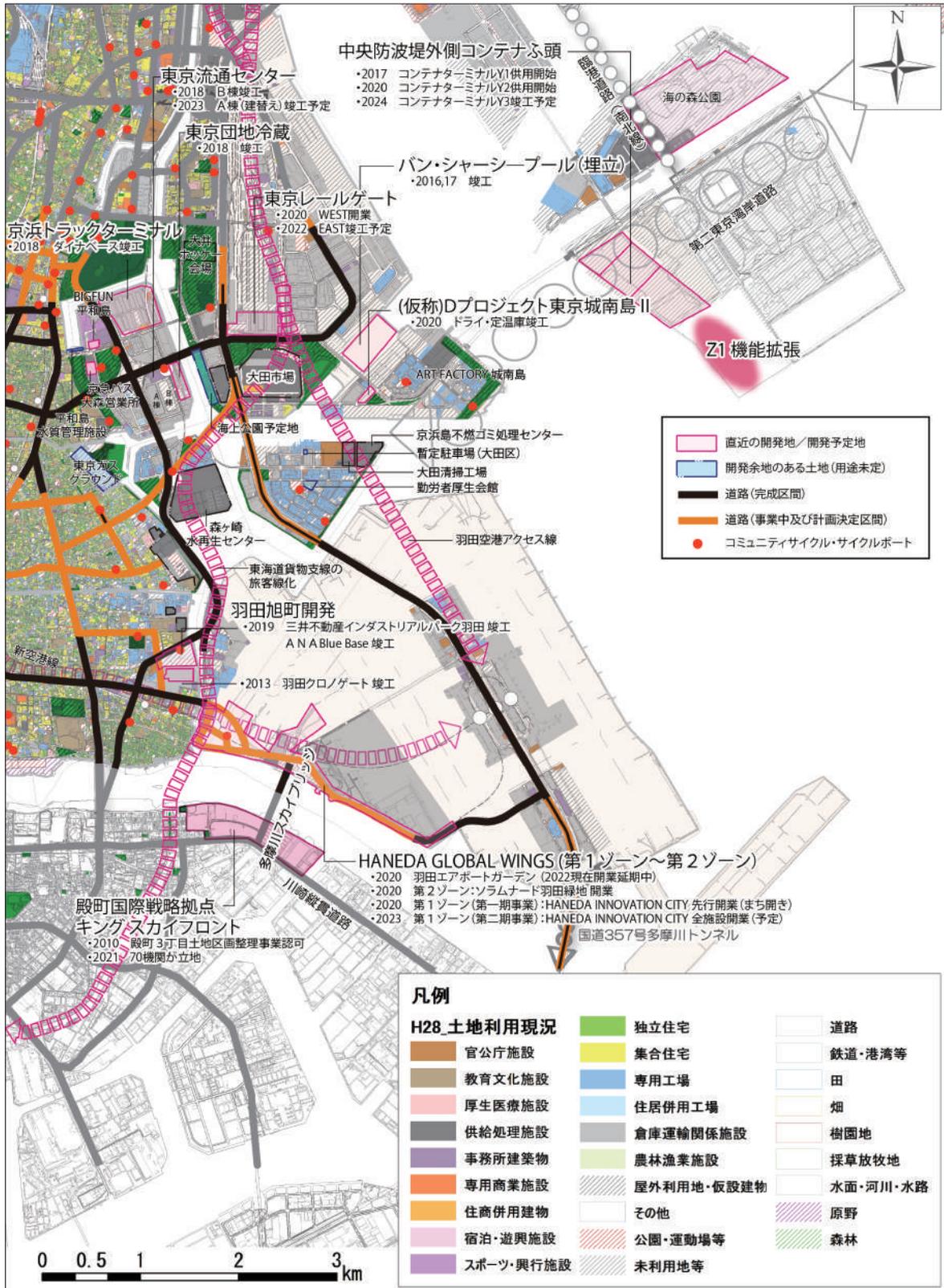


昭和島二丁目公園

空港臨海部の主な開発動向

- HANEDA GLOBAL WINGSの開発により、首都圏の玄関口として空港臨海部の魅力が更に高まるとともに、羽田空港アクセス線、東京レールゲート、大水深岸壁を有するふ頭（Y3、Z1）など、新たな交通ネットワークや物流拠点の構築が予定されており、物流や交通の拠点としての機能もより高まることが期待されています。

【空港臨海部及び周辺地域の主な開発動向】



3. 都市部における2040年の将来動向

都市部における2040年に向けた社会構造の変化（メガトレンド）

- 2040年の未来社会（主に都市部を対象）においては、社会構造の変化、技術革新、人々の意識革新の3つの視点で下図に示すような様々な変化が生じていると想定されます。

都市部における2040年に向けた社会構造の変化

国際的な変化

- アジア台頭と都市間競争
- 観光・インバウンドの増加
- SDGs等のグローバル課題への対応

人口の変動

- 少子高齢化
- 生産年齢人口の減少
- 都心部への一極集中の進行と緩和

都市課題の顕在

- 産業構造変化への対応
- インフラの老朽化・遊休化
- 災害への対応強化
- 地球環境の急激な変化

ライフ/ワークスタイルの変化

- モノからコト・サービスへ
- 働き方の変革
- 多拠点居住
- 自然共生・活用



技術革新

- Society5.0の社会実装
- 自動化・AI化、5G・ポスト5G
- 素材・エネルギー等の革新
- 信用創造技術(ブロックチェーンなど)

意識革新

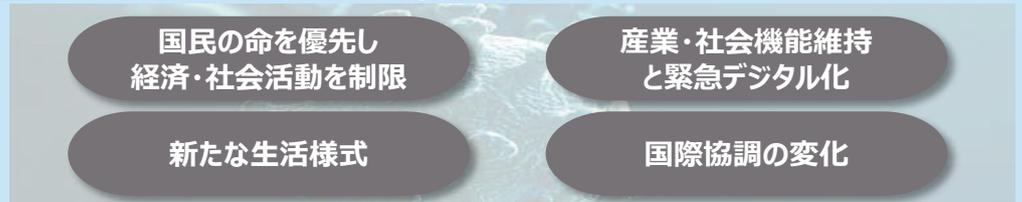
- 多様性の承認（ダイバーシティ）
- 社会的包容力の推進（インクルージョン）

新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化

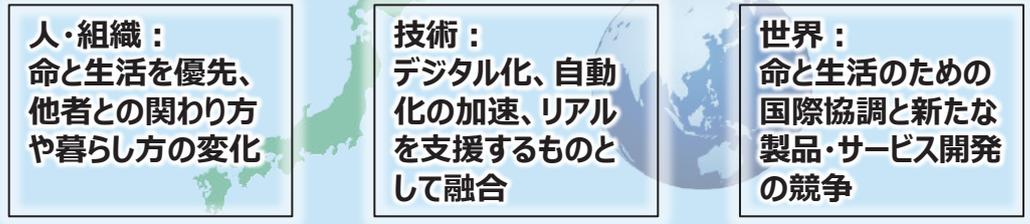
- 新型コロナウイルス感染症は、世界的に経済・社会・生活に大きな影響をもたらしました。過去の日常に留まることなく、より良い社会を築き上げ、レジリエントで持続可能な経済社会を目指すことが求められています。このような災害前の状態に戻すのではなく、災害前よりも強靱な社会づくりを行う考え方を「Build Back Better」と言います。



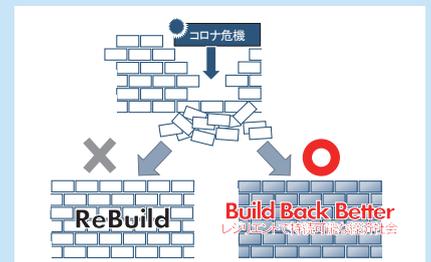
新型コロナウイルス感染症への緊急対応



コロナ禍がもたらした変化



- 個人のウェルビーイングと社会全体の持続可能性の両立
- デジタル・リアルの最適配分による地域の自立分散
- 地球規模の社会課題に対する国際ルール形成と協調



4. 空港臨海部の強みと目指すべき方向性

- 2040年の将来動向と空港臨海部の持つ強みから、空港臨海部の目指すべき方向性を整理しました。

空港臨海部の強み

産業特性

- **オンリーワンのものづくり：**
製造が難しい製品も作業工程と工具を独自に考え、対応できる技術力・ノウハウを有する企業が集積
- **都心付近にある工業専用地域という希少性：**
住宅地などでは制限される産業活動（24時間稼働、危険物取扱など）や実証実験などが可能
- **新たな開発可能性のある土地の存在**（中央防波堤埋立地：令和島周辺）

立地特性

- **顧客との近接：**
都心及び関東一円に近く、様々な交通手段を活かした人の交流や物流の適地
- **世界との近接：**
羽田空港及び東京港を窓口とする世界との近接性

都市資源

- **希少な自然・観光資源の存在：**
23区内（都心付近）では希少な公園・緑地・水辺・河川、大田市場などの存在
- **多重の交通手段の存在：**
交通手段の多重性（中央環状線や湾岸線、首都高速道路、空港、リニア中央新幹線〔品川駅に近接〕、港湾の存在）
- **物流、防災拠点機能の存在：**
京浜トラックターミナル、東京流通センター、東京団地冷蔵など、多数の倉庫の存在

▼ 2040年の将来動向 × 空港臨海部の強み

将来動向×産業特性に基づく方向性

- 既存の技術・ノウハウを生かしながら、次世代の高付加価値産業（製造装置・産業機械、医療・介護、環境・エネルギー・循環、自動車など）への参入が進み、災害時や感染症発生時にも継続性の高い産業が拡大している。
- 研究開発、試作製造、実証実験などを展開し、新技術の社会実装に挑戦できる場となっている。

将来動向×立地特性に基づく方向性

- 多様な交通ネットワークが更に拡充され、物流適地としての価値が高まり、災害時や感染症発生時にも都心における高度物流網の一翼を担っている。
- 人材、技術交流（技能研修、業務連携など）や、世界の製品開発・試作現場となっている。

将来動向×都市資源に基づく方向性

- 空港臨海部で働く人や訪れる人（区民・都民、羽田空港利用者など）にとって、アクセスしやすく、自然・観光資源を活かした魅力的な就業環境や観光拠点が形成されている。
- 大規模災害時の水・食料・エネルギーの備蓄・生産基地、復旧・復興の拠点となっている。
- 区民にとって、余暇の充実や健康維持に役立つ憩いの空間となっている。

空港臨海部の目指すべき方向性

5. 空港臨海部の将来像

多様な人々が交流・挑戦する“未来型創造都市” ～世界へはばたく空港臨海部～

空港臨海部で働く人、遊びに来る人、創作活動をする人、海外から訪れる人など多様な人々が交流・挑戦し、伝統と最先端テクノロジーが融合することにより、新たな分野での起業・創業、多様な交通手段の実装など2040年の未来において、新たな価値が生み出され、世界が注目する次世代の空港臨海部が形成されています。



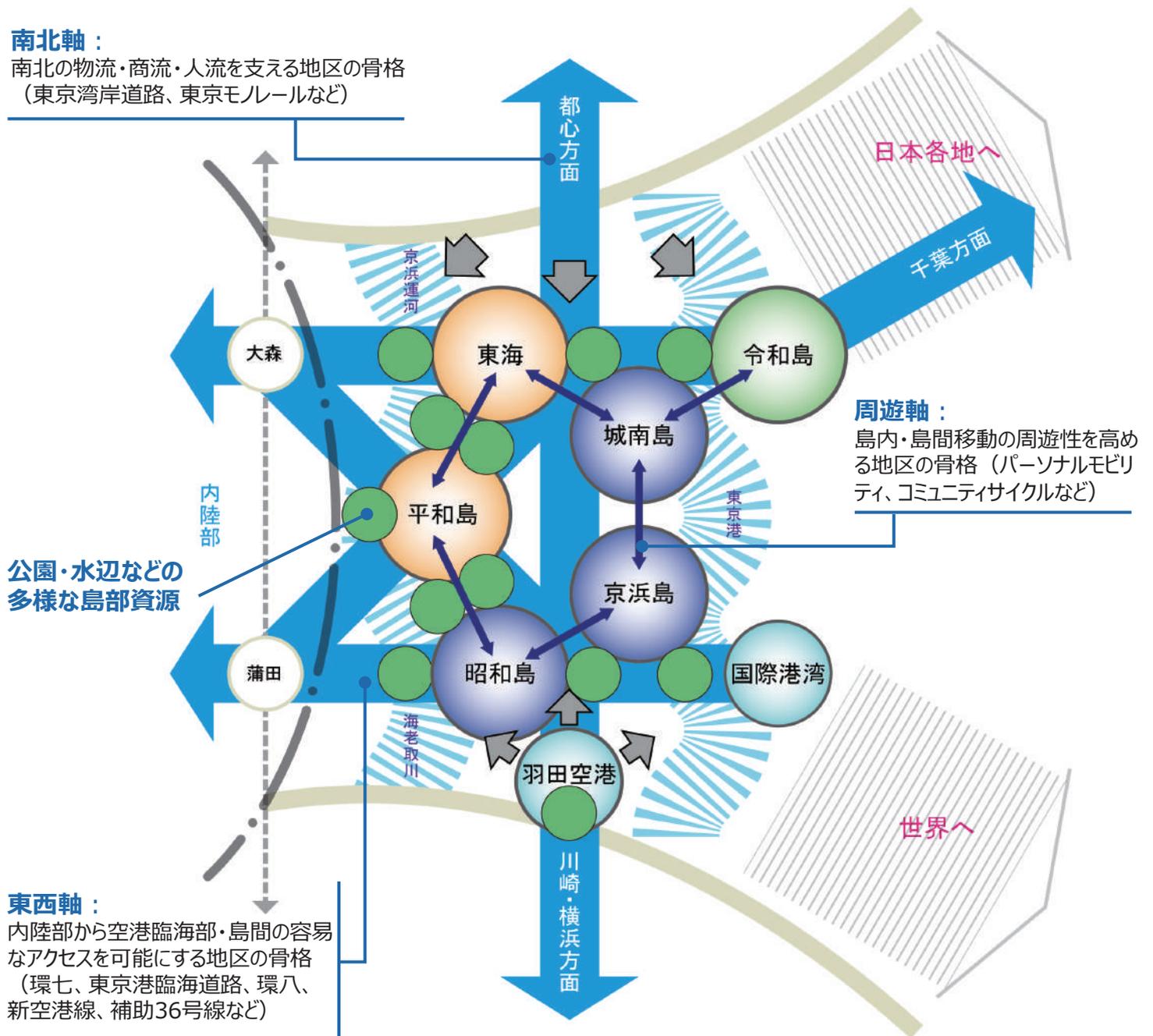
開発、生産、廃棄・再生産の全工程において、卓越した技術・能力を有する企業・技術者が交流・挑戦するとともに、工程の自動化が進み、高い付加価値と産業の継続性を生み出す場となっている。

都市部において貴重な自然資源（緑・川・海）やスポーツ・アートの拠点として、余暇の充実や健康維持に役立つ、区民・働く人・訪れる人に親しまれるエリアとなっている。

公共交通や物流輸送の自動運転、自転車専用車線等が発展。多様な交通手段により、東京湾岸の物流幹線網の一翼や、内陸部との快適な交通網を担う。大規模災害時には、復興を支える軸線となっている。

南北軸：

南北の物流・商流・人流を支える地区の骨格
（東京湾岸道路、東京モルレルなど）



周遊軸：

島内・島間移動の周遊性を高める地区の骨格
（パーソナルモビリティ、コミュニティサイクルなど）

東西軸：

内陸部から空港臨海部・島間の容易なアクセスを可能にする地区の骨格
（環七、東京港臨海道路、環八、新空港線、補助36号線など）

6. 将来像の実現に向けた基本方針

- 空港臨海部の将来像の実現に向けて、以下のとおり3つの基本方針と基本方針ごとに分野別方針を設定しました。

基本方針①：高度な産業の集積拠点

空港臨海部の技術者と国内外の技術者が交流し、協調・競争を通じて新たな価値を創出する高度産業の一大集積拠点を形成します。



■ 産業

- 製造業をはじめ、特有の高い技術力を活かす企業の成長促進。最先端技術を活かし、新たな挑戦を試みる企業の誘致・育成
- 内陸部・都心や海外との連携、大手企業やベンチャー企業などとの交流・協業・挑戦を促進し、継続性の高いものづくり・研究開発の場を目指す。
- 国内外の技術者を惹きつける多様な働き方の実現

■ 土地利用

- ものづくりを主体とした土地利用の促進
- 研究開発、試作製造、実証実験などの機能を促進する土地利用誘導

基本方針②：人の活動と自然の調和

空港臨海部の希少な公園や緑地、水辺空間を活かし、働く人や訪れる人に憩いとインスピレーションをもたらす、産業・観光・レジャー・自然が調和したまちを実現します。



■ 自然環境・レクリエーション

- 都心における希少な公園・緑地・水辺、道路空間などのオープンスペースを活かし、区民・働く人には憩いの場として、訪れる人には多様なアクティビティを体験できる賑わいのある空間を創出
- 次世代エネルギーの活用やエネルギーのスマート化による脱炭素化の推進

■ 観光

- 「食」や「産業資源」などの観光コンテンツの創出・活用
- 舟運などによる新たな観光ルートの形成と羽田空港利用者の取込み

基本方針③：次世代のインフラ整備

陸・海・空における先端技術を活用した、次世代の交通・物流・通信インフラ及び交流のソフトインフラが整備されるとともに、災害時における復旧・復興の拠点を担う地域を目指します。



■ 交通

- 空港臨海部と近隣道路ネットワークの再構築・強化
- 最新技術（自動運転など）を活用した公共交通サービスレベル、配送サービスの向上

■ 防災

- 大規模災害時に備える復旧・復興拠点の形成
- エネルギー自給率の向上と大規模災害・感染症発生時のBCP強化を兼ねる柔軟性・冗長性を備えたまちの形成

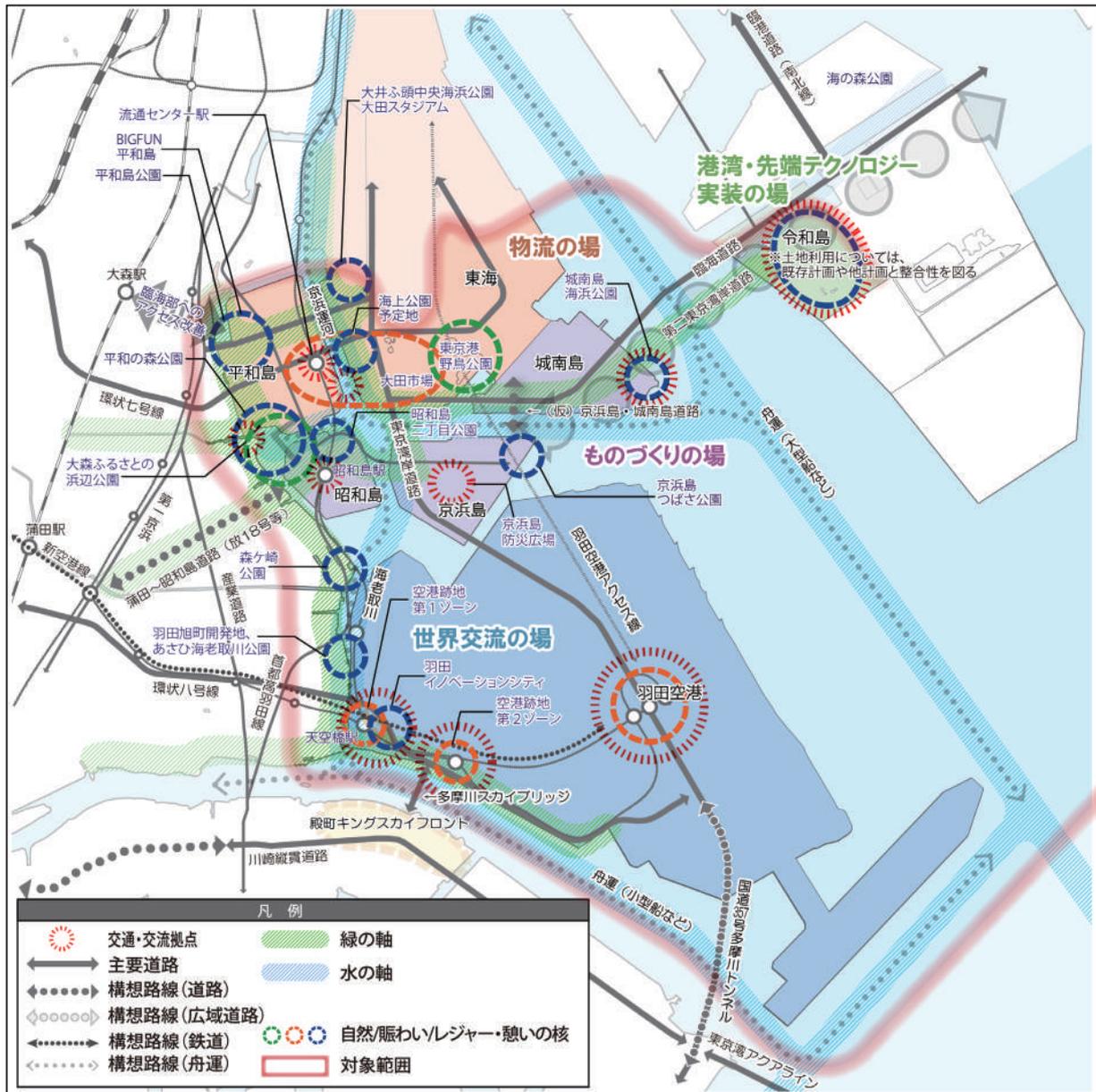
■ ソフトインフラ

- 交流・協業を円滑化するビジネスコミュニティの構築
- 新技術の社会実装を加速する法整備・規制緩和

将来都市方針図

- 空港臨海部の将来像の実現に向けた3つの基本方針を、将来都市方針図として整理しました。土地利用としては、羽田空港は「世界交流の場」、昭和島、京浜島及び城南島は「ものづくりの場」、平和島及び東海は「物流の場」、令和島は「港湾・先端テクノロジー実装の場」として位置付けています。
- また、空港臨海部にある既存資源を含め、「自然の核」、「賑わいの核」、「レジャー・憩いの核」、「交通・交流拠点」を位置付けています。

【将来都市方針図】



- **自然の核**：東京都心部近傍にありながら、貴重な自然環境に身近に触れることができる公園を自然の核として位置付ける。
- **賑わいの核**：区民、働く人、訪れる人にとって楽しく過ごせる魅力ある新しい賑わいの拠点を賑わいの核として位置付ける。
- **レジャー・憩いの核**：スポーツ施設や、水辺近接の公園、区民や働く人、訪れる人が休憩する場をレジャー・憩いの核として位置付ける。
- **交通・交流拠点**：内陸部～埋立島部や島間の移動円滑化並びに人々の交流の拠点として、
 - 主要な交通結節点や公園等の公共施設
 - 民地であってすでに将来的に交通結節点としての立地ポテンシャルのある場所を対象に、交通・交流拠点として位置付ける。

「**緑の軸**」核を連結する緑や散策できる道…内陸河川（内川）や呑川緑道、海辺の散策路など
 「**水の軸**」内陸と埋立島部、島間水面を連結する水の路（舟運ルートと一致）…海老取川、京浜運河など

3つの基本方針の狙いと相乗効果

- 3つの基本方針は次世代のインフラ整備を出発点として、相互に相乗効果を発揮する関係にあります。
- それぞれの基本方針の相乗効果により、「区民に親しまれる空港臨海部」、「高い雇用獲得力を誇る空港臨海部」となることを目指します。

【3つの基本方針の狙いと相乗効果】



2040年みらいスケッチ

2040年の未来における具体的な区民像を設定し、空港臨海部において、それぞれどのような生活を送っているか、「2040年のみらいスケッチ」という形でイメージしています。

10代 留学生

パラスポーツの聖地



- 私は海外出身で、2年前にパラアスリートの留学生としてやってきました。子供の頃交通事故にあって以来、車いす生活を送っています。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に日本のスポーツ環境整備が進んだことで、空港臨海部でも多様なスポーツ・アクティビティを体験することができます。
- 空港臨海部へ大森駅から低床バスに乗って移動します。歩道に面する部分は余裕をもって空間がとられているので、車いすでも安心して利用することができます。案内サイン・マップも、マルチリンガル対応で快適にあらゆる場所に移動できます。

40代 ファミリー

週末ナンバーワン・レジャースポット・臨海部



- 週末は家族と一緒に臨海部に行きます。道路も安全で、コミュニティサイクルで20分ほど汗をかけば、大森ふるさとの浜辺公園にたどり着きます。
- 公園内にあるスポーツ施設で都内では貴重なビーチバレーが楽しめます。
- 船に乗って京浜運河まで。船上レストランでランチを済ませたあとは、大田市場場外市場へ。フラワーアレンジメント教室やせり体験ができ、家族も大喜びです。
- 今では商業施設でショッピングするより、自然の中でおもいきり体を動かす、コトやトキを過ごすのが何よりの楽しみとなっています。

20代 学生

就職先は、伝統と革新が共存する臨海部企業



- 元々は文系だったけど、高校3年で体験した区主催のオープンファクトリーが私の人生を決定付けました。これをきっかけにものづくり系の大学に進みました。
- 大学では、今いるゼミ仲間と一緒に、お試しベンチャーを立ち上げました。企業の方や行政の支援により、高度な技術を活用しながら、色々なプロトタイプを素早く作ることができました。
- 就職先は臨海部に最近できた遺伝子医療のベンチャー。匠の技が生きるものづくり企業をコアに、研究開発やベンチャー企業も続々進出してきて、伝統と革新が息づく、協働のものづくりの場になっています。
- 入社後は、毎日のランチは公園で。いろんな種類のキッチンカーが来るので、楽しみです。

50代 会社経営者

お隣さんと気軽に協業できる環境がある



- 祖父の代から続く、金属加工業の3代目です。従業員は総勢20名と小規模。でも実はねじ加工の分野では、世界中からひっきりなしにオファーが。脈々と受け継がれる熟練工の技があつてこそ。
- ここ数年で島丸ごとDXが進展する中、伝統的な「職人の技」継承のためのナレッジマネジメントが構築されています。また、島にある技術・製品開発センターでは、各企業が持つ技術にアクセスできるシステムや、お隣さんとのプロトタイプ環境が充実しています。
- 最近では、島に進出してきたベンチャー企業と協業し、複数の製品開発も進めています。今までメーカー下請けが多かったのですが、今はマーケットニーズに応えるべく、日々奮闘しています。
- ここで培った技術力・ネットワークを生かして、ここ空港臨海部から世界一のものづくり企業のトップランナーを目指していきます！

30代 自営業

ふる浜ハッピービーチウェディング



- 結婚を考えている人と一緒に区内商店街で飲食店を経営しています。週末は、臨海部の公園内にキッチンカーを出しています。
- 大森ふるさとの浜辺公園は、広々とした空・砂浜・水辺を、身近に体感できます。昭和島の工場を美しく彩る朝焼けの中、大好きな人と早朝デートを楽しんだ思い出の場所です。
- 夜は、ナイトフィッシングが楽しみです。また、改装されたレストハウスにできたお洒落なバーでお酒を楽しめます。
- そんなふたりの思い出の大森ふるさとの浜辺公園で、互いに人生で一番輝く姿を見たい。憧れだったビーチウェディングを挙げました！

80代 熟練工

100年時代の人生が輝く場所



- 20年前、定年退職を前に、ライフシフトを決意。臨海部の工場で働き始めました。自分の能力を十分に生かすことができるこの臨海部で、今も元気に働いています。
- 大森から連節バスで移動して、更にパーソナルモビリティに乗り換え。自動運転やMaaSのサービスを利用して、渋滞も混雑もなく、スムーズにアクセスできます。また、自宅から職場までパーソナルモビリティだけでシームレスに移動することもできるため、将来的にも移動の不安がありません。
- 週末はひ孫を連れて、大森ふるさとの浜辺公園の砂浜からバナナボートに乗って海を楽しみます！

7. プロジェクト

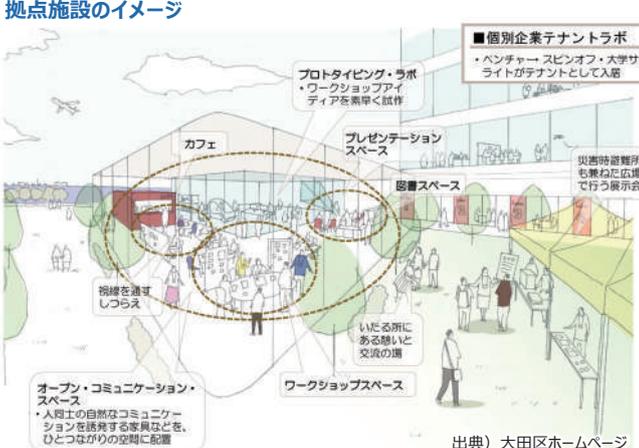
- 基本方針①：高度な産業の集積拠点、基本方針②：人の活動と自然の調和、基本方針③：次世代のインフラ整備の3つの基本方針ごとに、4つのプロジェクトテーマを設定し、全部で34のプロジェクトとしてまとめました。
- 1.事業効果が大きいこと、2.他のプロジェクトとの関係性が多いこと、3.基本方針を跨って影響を及ぼす事業であることの3つの視点から重点プロジェクトを位置付け、重点的に取り組んでいきます。

基本方針	プロジェクトテーマ	プロジェクト	
基本方針① 高度な産業の集積拠点	【1】ものづくり産業拠点整備	①	技術・製品開発センター機能の導入 重プロ
		②	低未利用地の産業活用
	【2】産業競争力強化	③	スマートファクトリー化（自動化・高度化）
		④	技術活用・事業承継支援
	【3】働く場の魅力化	⑤	「子育て」環境の整備
		⑥	「憩い」「食」の場づくり
		⑦	次世代の就業環境の整備
		⑧	就業者同士の交流環境の整備
	【4】港湾・先端テクノロジーの実装	⑨	次世代の港湾・物流機能の導入
		⑩	先端テクノロジーの実装 重プロ
		⑪	強靱な港の整備・憩いの空間の創出
基本方針② 人の活動と自然の調和	【5】海と緑のレジャー環境整備	⑫	既存公園・緑地の魅力創出
		⑬	「賑わい」創出のための施設整備・機能強化 重プロ
		⑭	水辺と水域の賑わい創出
	【6】観光コンテンツの創出・活用	⑮	工場・倉庫等の多面的活用
		⑯	既存観光コンテンツ活用による賑わい創出
		⑰	見て・触れて楽しめる周遊ルート整備
	【7】自然環境共生	⑱	生物多様性に関する普及啓発
		⑲	希少な自然環境の保護・再生
		⑳	水と緑のネットワークの形成 重プロ
	【8】脱炭素社会の推進	㉑	脱炭素化の推進
㉒		次世代エネルギーインフラの整備支援	
㉓		循環型社会の実現に資する技術開発支援	
基本方針③ 次世代のインフラ整備	【9】交通ネットワークの強化	㉔	「東西軸」の強化・形成 重プロ
		㉕	「周遊軸」の強化・形成
		㉖	「南北軸」の強化・形成
		㉗	羽田空港へのアクセス強化・形成
	【10】拠点機能強化	㉘	防災拠点機能の強化
		㉙	交通結節点の整備
		㉚	モノレール等の駅周辺整備
	【11】新・交通システムの実現	㉛	次世代モビリティの導入、通信インフラ等の整備 重プロ
		㉜	新・交通システムに対応する道路空間の整備
	【12】交通手段の多様化・周遊性向上	㉝	移動を快適にするソフトインフラの整備
		㉞	水上交通システムの構築

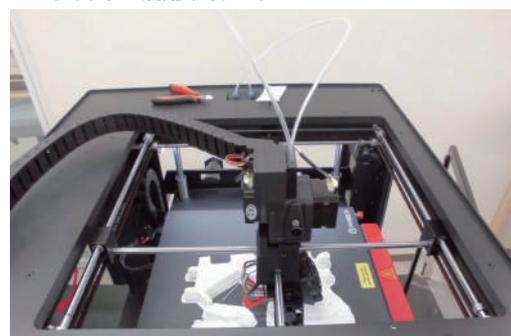
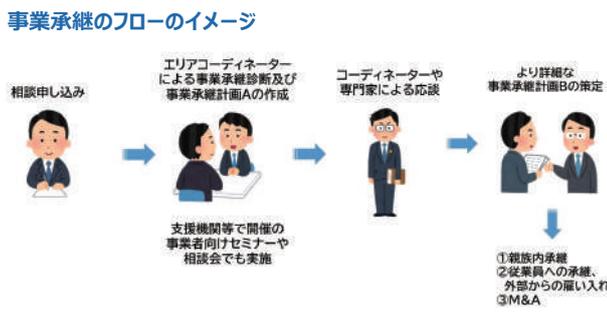
基本方針①：高度な産業の集積拠点

プロジェクトテーマ：ものづくり産業拠点整備

重プロ：重点プロジェクトに位置付けているものを示す。

プロジェクト	プロジェクトの内容
<p>①</p> <p>重プロ</p> <p>技術・製品開発 センター機能の導入</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>拠点施設のイメージ</p> <p>東京都及び民間事業者などと連携し、新製品開発・市場創出を目指す企業ラボ、業務発注者と島内企業とのマッチング機能を持つ受注センター、事業承継仲介、交流機能を施設整備などに合わせて導入する。 【昭和島、京浜島、城南島など】</p>  <p>出典) 大田区ホームページ</p>
<p>②</p> <p>低未利用地の 産業活用</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>低未利用な公有地を、研究開発型のものづくり産業の立地促進を図る場、就業者のための憩いの場や交流の場として有効に活用する。 【昭和島、京浜島、城南島など】</p>  <p>テクノFRONT 森ヶ崎</p>

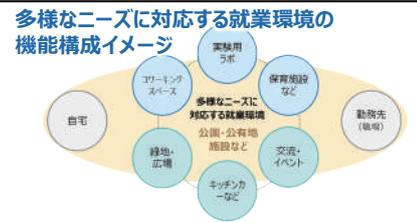
プロジェクトテーマ：産業競争力強化

プロジェクト	プロジェクトの内容
<p>③</p> <p>スマートファクトリー化 (自動化・高度化)</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>技術力の高いものづくり企業の生産性向上や受注促進を実現するため、ICT、IoT、3Dプリンターなどを活用したスマートファクトリー化を目指す。IoT活用を促進する公的施策の導入も図り、官民一体で島部のスマート化に取り組む。 【昭和島、京浜島、城南島など】</p> <p>3Dプリンター活用のイメージ</p> 
<p>④</p> <p>技術活用・ 事業承継支援</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>島内に立地する企業における研修・研究・事業創出の希望者を募り、互いの知見を持ち寄る場を構築することで新規技術や事業の創出機会を生み出す。 立地企業が後継者不足などを理由に廃業する場合、事業承継を支援する仕組みを設立する。 【昭和島、京浜島、城南島など】</p> <p>事業承継のフローのイメージ</p>  <p>出典) 公益財団法人大阪産業局ホームページ「事業承継サポート」事業概要より</p>

プロジェクトテーマ： 働く場の魅力化

重プロ：重点プロジェクトに位置付けているものを示す。

プロジェクト	プロジェクトの内容
⑤ 「子育て」環境の整備 2025 2030 2040 短期 中期 長期	多様な人材が空港臨海部で安心して就業できるように、保育施設を設置するなど、子育て層にも働きやすい環境を整備する。 【昭和島、京浜島、城南島など】
⑥ 「憩い」「食」の場づくり 2025 2030 2040 短期 中期 長期	空港臨海部で働く就業者や来街者のための「憩い」「食」の場として、港湾緑地や公園といったオープンスペースにキッチンカーや飲食店などを誘致する。 【空港臨海部全域】
⑦ 次世代の就業環境の整備 2025 2030 2040 短期 中期 長期	ワーキングスペースや通信インフラの充実など、多様な働き方に対応する環境の整備や、自動走行ロボットによる宅配など、新たな技術導入により就業者の利便性の向上を図る。 【空港臨海部全域】
⑧ 就業者同士の交流環境の整備 2025 2030 2040 短期 中期 長期	空港臨海部で働く人同士や大手企業、ベンチャー企業など企業間を越えた積極的な交流を促すための拠点やコミュニティなどのソフトインフラを整備する。 【空港臨海部全域】



プロジェクトテーマ： 港湾・先端テクノロジーの実装

プロジェクト	プロジェクトの内容
⑨ 次世代の港湾・物流機能の導入 2025 2030 2040 短期 中期 長期	港湾・物流機能の高度化・効率化、脱炭素化に向け「ヒトを支援するAIターミナル」の導入、次世代エネルギー・再生可能エネルギーの利活用を行う。 【令和島など】
⑩ 先端テクノロジーの実装 2025 2030 2040 短期 中期 長期	東京都や民間企業などと連携し、次世代エネルギー、自動走行、次世代モビリティなどの実証実験を行う場として、周辺道路を含めた広大な土地を活用するとともに、先端テクノロジーを実装する。 【令和島など】
⑪ 強靱な港の整備・憩いの空間の創出 2025 2030 2040 短期 中期 長期	道路の無電柱化や耐震強化岸壁の整備などにより、災害にも強く、安全な港湾の整備を図る。 港湾で働く人や訪れる人が、憩い・交流できるように、飲食・みどり・交通結節機能を有する空間を創出する。 【令和島など】



基本方針②：人の活動と自然の調和

プロジェクトテーマ：海と緑のレジャー環境整備



：重点プロジェクトに位置付けているものを示す。

プロジェクト	プロジェクトの内容
<p>⑫</p> <p>既存公園・緑地の魅力創出</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>空港臨海部に存在する既存の公園や緑地などの情報発信を行うとともに、キッチンカーの誘致など賑わいの創出、利便性の向上、スポーツ施設などの整備を図る。</p> <p>【大森ふるさとの浜辺公園、平和の森公園、昭和島二丁目公園、ソラムナード羽田緑地など】</p> 
<p>⑬</p> <p>重プロ</p> <p>「賑わい」創出のための施設整備・機能強化</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>公民連携によりレストランやカフェなど「遊ぶ・憩う」場として魅力を高めるための施設・空間を既存の公園・緑地、または遊休公有地を活用して整備する。</p> <p>【羽田空港公園など】</p> <p>出典) 国土交通省「令和2年度 PPP/PFI推進説明会」資料</p> 
<p>⑭</p> <p>水辺と水域の賑わい創出</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>水上利用のための制度整備を行うとともに、水上レストランなど、水辺と水域の賑わい創出のために多様な利用を行うための仕組みを作る。</p> <p>【流通センター駅・大田市場周辺、羽田イノベーションシティ周辺など】</p>  <p>出典) 一般社団法人 天王洲・キャナルサイド活性化協会ホームページ</p>

プロジェクトテーマ：観光コンテンツの創出・活用

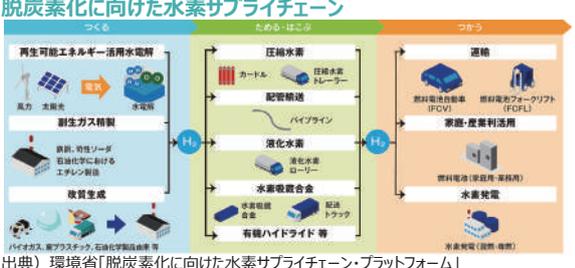
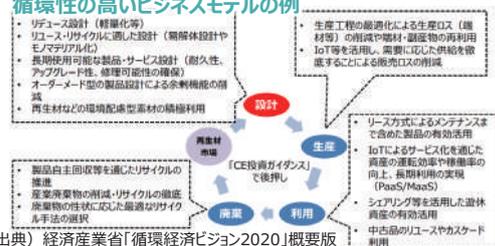
プロジェクト	プロジェクトの内容
<p>⑮</p> <p>工場・倉庫等の多面的活用</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>工場・倉庫などの民間施設の活用や音楽イベントの開催など、工場・倉庫・道路空間などにおける新たな観光コンテンツを創出する。</p> <p>【東海、平和島、京浜島など】</p> 
<p>⑯</p> <p>既存観光コンテンツ活用による賑わい創出</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>既存観光コンテンツのプロモーションを図るとともに施設の環境整備を行い、活用の促進・誘客を図ることで賑わい創出に繋げる。</p> <p>【城南島、大田市場周辺、羽田イノベーションシティ周辺など】</p> 
<p>⑰</p> <p>見て・触れて楽しめる周遊ルート整備</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>夜景スポットや親水空間などがある、見て・触れて楽しめる周遊ルートを整備するとともに、観光の拠点となる施設を整備する。</p> <p>【京浜運河、羽田イノベーションシティ周辺など】</p> 

プロジェクトテーマ： 自然環境共生

重プロ：重点プロジェクトに位置付けているものを示す。

プロジェクト	プロジェクトの内容
⑱ 生物多様性に関する普及啓発 2025 2030 2040 短期 中期 長期	区民にとっての憩いの場となるような緑地・水辺などにおいて、生物多様性に関する情報発信、市民参加型の生物調査などを通じて生物多様性に関する普及啓発を行う。 【東京港野鳥公園、大森ふるさとの浜辺公園など】  市民参加型の生物調査のイメージ 出典) 国土交通省中部地方整備局
⑲ 希少な自然環境の保護・再生 2025 2030 2040 短期 中期 長期	自然環境のモニタリングや環境整備を国や都、区民と連携して実施するとともに、水質改善など自然保護と再生を行う。 【空港臨海部全域】  官民連携による水質調査のイメージ 出典) 海上保安庁「東京湾環境一斉調査」ホームページ
重プロ ⑳ 水と緑のネットワークの形成 2025 2030 2040 短期 中期 長期	屋上緑化や自然環境と調和したオフィス空間などの形成、道路空間の緑化・透水性舗装、ビオトープなどの水辺空間を整備し、水と緑のネットワーク形成を行う。 【空港臨海部全域】 グリーンインフラの事例  グリーンインフラの事例 出典) 国土交通省「グリーンインフラポータルサイト」

プロジェクトテーマ： 脱炭素社会の推進

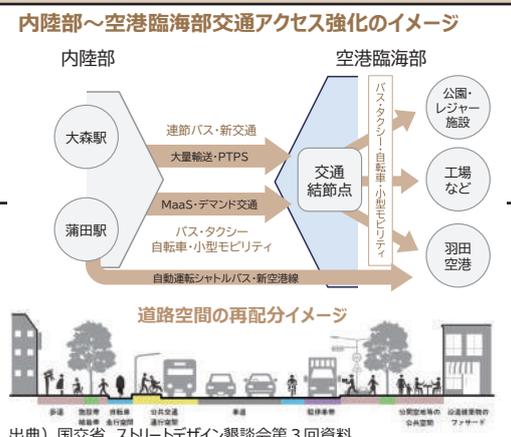
プロジェクト	プロジェクトの内容
㉑ 脱炭素化の推進 2025 2030 2040 短期 中期 長期	施設や低未利用地などへの再生可能エネルギーの導入、工場のスマート化など、エネルギー利用の効率化・最適化、ブルーカーボンの利活用により脱炭素化を進める。 【空港臨海部の公共施設、低未利用地、工場・事業者の拠点など】  カーボンニュートラルの産業イメージ 出典) 経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」広報資料
㉒ 次世代エネルギーインフラの整備支援 2025 2030 2040 短期 中期 長期	環境に配慮した公共交通機関に対応する次世代エネルギー供給ステーションの整備など新たなエネルギーインフラの整備及び構築支援を行う。 【空港臨海部の交通結節点など】 脱炭素化に向けた水素サプライチェーン  脱炭素化に向けた水素サプライチェーン 出典) 環境省「脱炭素化に向けた水素サプライチェーン・プラットフォーム」
㉓ 循環型社会の実現に資する技術開発支援 2025 2030 2040 短期 中期 長期	民間事業者などが既存技術を活かし、循環型社会の実現に資する技術開発を行うことに対して、支援を行う。 【空港臨海部全域】 循環性の高いビジネスモデルの例  循環性の高いビジネスモデルの例 出典) 経済産業省「循環経済ビジョン2020」概要版

基本方針③：次世代のインフラ整備

プロジェクトテーマ：交通ネットワークの強化

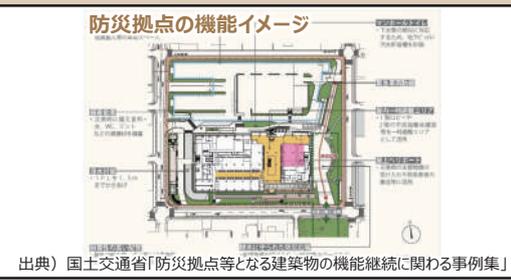
重プロ：重点プロジェクトに位置付けているものを示す。

プロジェクト	プロジェクトの内容
②4 重プロ 「東西軸」の強化・形成 2025 2030 2040 短期 中期 長期	優先道路化を推進するとともに、PTPSやMaaSなどの交通システムの活用を図る。都市計画道路の整備、既存道路空間の再配分や機能向上のための道路整備を行う。
②5 「周遊軸」の強化・形成 2025 2030 2040 短期 中期 長期	物流の円滑化や安全面を強化するため、京和橋などの交通渋滞緩和を図る。空港臨海部へ安全かつ円滑に移動するための道路・設備などの整備を行うとともに、自転車などパーソナルモビリティの利用促進を図る。
②6 「南北軸」の強化・形成 2025 2030 2040 短期 中期 長期	国道357号の立体化、多摩川トンネル、第二東京湾岸道路の整備促進、東京外かく環状道路、海岸通り（都道317号）の延伸などの整備を促す。
②7 羽田空港へのアクセス強化・形成 2025 2030 2040 短期 中期 長期	羽田空港へのアクセス強化に向け新空港線の整備を行う。MaaSによる移動のフレキシビリティ向上、連節バス導入による輸送キャパシティ増加、自動運転シャトルバスの運行などを行う。



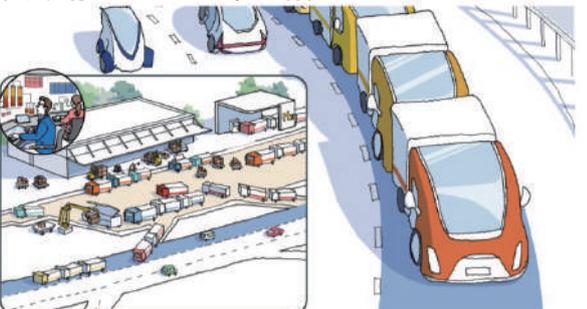
プロジェクトテーマ：拠点機能強化

プロジェクト	プロジェクトの内容
②8 防災拠点機能の強化 2025 2030 2040 短期 中期 長期	災害時に「食、水、電気など」を供給する防災拠点機能を整備、強化する。大規模災害時や感染症発生時にも活用できるオープンスペース（公園・道路など）の整備を行う。 【流通センター駅周辺、羽田イノベーションシティ周辺など】
②9 交通結節点の整備 2025 2030 2040 短期 中期 長期	周遊性向上のために必要な交通結節点を新設する。既存及び新設する交通結節点は、災害時の一時的な避難場所への活用など、防災の機能も踏まえた整備を行う。 【京浜島、令和島、羽田イノベーションシティ周辺など】
③0 モノレール等の駅周辺整備 2025 2030 2040 短期 中期 長期	自動運転バスやパーソナルモビリティの乗降所など、新たな交通システムの導入に合わせて機能拡張を行う。施設の建替えや開発を機に民間活力を活用し、交通結節機能を整備する。 【流通センター駅、天空橋駅など】



プロジェクトテーマ： 新・交通システムの実現

重プロ：重点プロジェクトに位置付けているものを示す。

プロジェクト	プロジェクトの内容
<p>③1</p> <p>重プロ</p> <p>次世代モビリティの導入、通信インフラ等の整備</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>低炭素な交通システムのイメージ</p> <p>自動運転バスやパーソナルモビリティなど、次世代モビリティの導入を図る。サービスの提供に必要な通信インフラや乗降所などを交通結節点や拠点施設に整備する。 【空港臨海部全域】</p>  <p>出典) 国土交通省道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる」</p>
<p>③2</p> <p>新・交通システムに対応する道路空間の整備</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>自動運転バスや物流トラックの隊列走行、パーソナルモビリティなどの新・交通システムに対応するため、専用レーンの設置など道路空間の整備を図る。水上交通システムなどを含め、多様な交通手段に対応する道路空間・交通結節点を整備する。 【空港臨海部全域】</p> <p>隊列走行の専用道路と連結・解除拠点のイメージ</p>  <p>出典) 国土交通省道路政策ビジョン「2040年、道路の景色が変わる」</p>

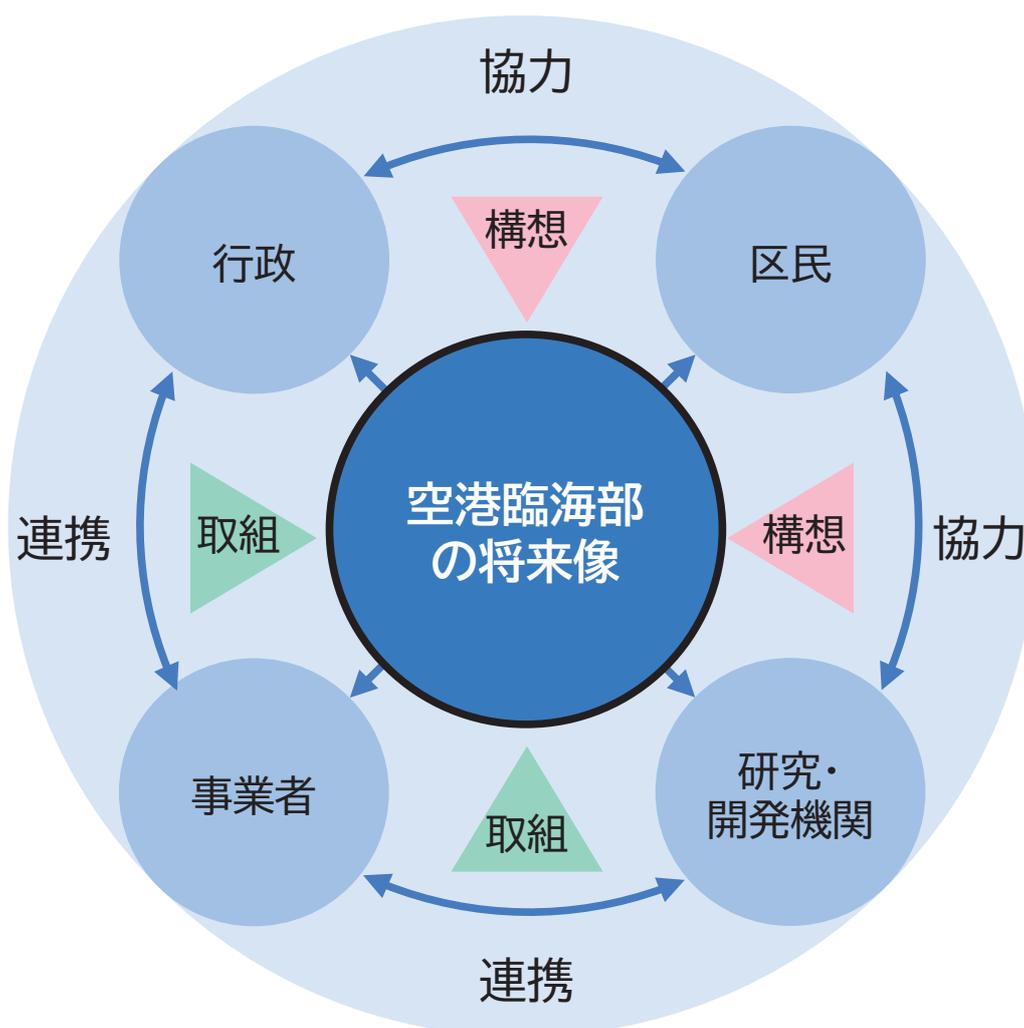
プロジェクトテーマ： 交通手段の多様化・周遊性向上

プロジェクト	プロジェクトの内容
<p>③3</p> <p>移動を快適にするソフトインフラの整備</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>MaaSシステムのイメージ</p> <p>空港臨海部各所への移動・周遊のためのパーソナルモビリティの導入に加え、MaaSシステムなどソフトインフラの整備を行う。並行して実施する道路空間の整備やMaaSシステムの導入に合わせて規制緩和を図る。 【空港臨海部全域】</p>  <p>出典) 国土交通省「日本版MaaS推進」ホームページ</p>
<p>③4</p> <p>水上交通システムの構築</p> <p>2025 2030 2040 短期 中期 長期</p>	<p>航路を活かした水上交通ネットワークの構築、自動運航船の導入など、舟運を空港臨海部の新たな交通手段として確立する。 【大森ふるさとの浜辺公園船着場、羽田イノベーションシティ周辺船着場など】</p> <p>舟運ルートイメージ</p>  <p>舟運社会実験 (大田区)</p>

8. 実現に向けて

- ビジョン2040で定める将来像を実現するためには、前述のプロジェクトを行政が単独で行うのではなく、区民、事業者、研究・開発機関、行政などの関係主体が連携してまちづくりに取り組むことが必要不可欠です。
- 区では、大田区公民連携基本指針に基づき、民間企業などをはじめとした多様な主体の参画機会の充実や連携を一層推進することで、空港臨海部の地域力を強化し、ビジョン2040に基づいて持続可能なまちづくりを進めます。
- 重点プロジェクトに定めた事業については、他の関連するプロジェクトへの影響やビジョン2040の実現に向けた波及効果が大きいため、前述の関係主体と連携を図りつつ、重点的に取り組むことで、効果的・効率的に将来像を実現していきます。

【空港臨海部の将来像実現に向けた関係主体の連携イメージ】



参考資料 1 空港臨海部グランドビジョン専門部会の実施経過

「空港臨海部グランドビジョン専門部会」委員名簿（敬称略）

	委員氏名	選出区分	所属
1	小林 清	学識経験者	明治大学 公共政策大学院 教授
2	中西 正彦	学識経験者	横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 教授
3	福田 大輔	学識経験者	東京大学大学院 工学系研究科 教授
4	山本 聡	学識経験者	東洋大学 経営学部経営学科 教授
5	飯嶋 清市（～R2.3.31） 山田 良司（R2.4.1～）	区職員	産業経済部長
6	齋藤 浩一（～R3.6.30） 西山 正人（R3.7.1～）	区職員	まちづくり推進部長

「空港臨海部グランドビジョン専門部会」開催実績

部会名	日時	議題
第1回	令和元年（2019年） 8月2日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部グランドビジョン2030の改定方針について 空港臨海部の将来像について
—	10月24日（木） 10月29日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部の現地視察
第2回	11月5日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部の将来像及び基本方針について
第3回	令和2年（2020年） 1月31日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部の将来像及び基本方針について
第4回	11月6日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による空港臨海部への影響について 空港臨海部の将来像及び基本方針の改定について
第5回	令和3年（2021年） 2月5日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部の将来像及び基本方針の改定について プロジェクト等について
第6回	6月29日（火）	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト及びロードマップについて
第7回	8月27日（金）	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）空港臨海部グランドビジョン2040（素案）について
第8回	令和4年（2022年） 1月25日（火）	<ul style="list-style-type: none"> 空港臨海部グランドビジョン2040（案）について

参考資料 2 用語集

用語	解説
HANEDA GLOBAL WINGS 【P 1】	羽田空港跡地のこと。第 1 ゾーンには「羽田イノベーションシティ」、第 2 ゾーンには「羽田エアポートガーデン」、「ソラムナード羽田緑地」が整備されている。
羽田空港アクセス線 【P 5】	羽田空港と都心とのアクセス利便性の向上を目的とした、田町駅付近・大井町駅付近～東京貨物ターミナル付近～羽田空港における東海道貨物支線貨客併用化の新路線。
SDGs 【P 6】	持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称で、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
インバウンド【P 6】	外国人が訪れてくる旅行。
Society5.0 【P 6】	狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」。
AI 【P 6】	人工知能（Artificial Intelligence）の略称。
5G 【P 6】	AI/IoT時代のICT基盤で、超高速・超低遅延・多数同時接続が実現可能となる。
ブロックチェーン 【P 6】	情報通信ネットワーク上にある端末同士を直接接続して、取引記録を暗号技術を用いて分散的に処理・記録するデータベースの一種。
ダイバーシティ 【P 6】	性別や国籍、年齢などにかかわらず、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のこと。
インクルージョン 【P 6】	社会的排除を克服し、社会的包摂（Social inclusion）を達成すること。
レジリエント 【P 6】	ハザード（自然現象）の振る舞いを予測し、防災力を向上させるために、それらをバラバラに行うのではなく、災害をしなやかに乗り切る力。
ウェルビーイング 【P 6】	個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。
次世代エネルギー 【P 10】	地球環境に対して負荷の少ない自然界のエネルギーである、太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーや水素といった新エネルギー。
エネルギーのスマート化 【P 10】	太陽光や風力など再生可能エネルギーを最大限活用し、家庭やビル、交通システムをITネットワークで繋げ、地域でエネルギーを有効活用する次世代の社会システム。
BCP 【P 10】	事業継続計画（Business Continuity Plan）の略称で、企業が緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、方法、手段などを取り決めておく計画。
ビジネスコミュニティ 【P 10】	ビジネスにおいて協業、コラボレーションが促進されるようなコミュニティのこと。

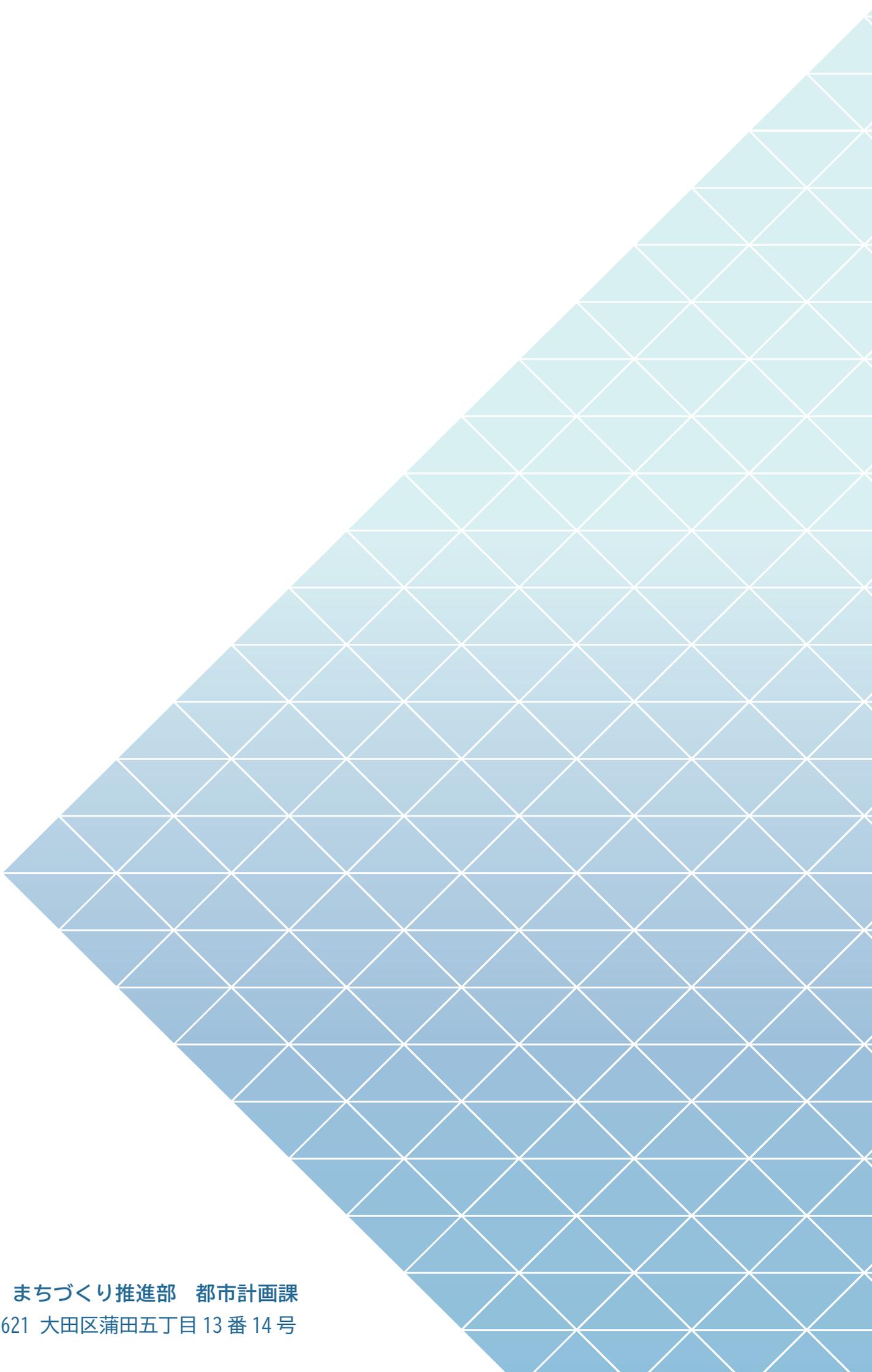
参考資料 2 用語集

用語	解説
パーソナルモビリティ【P 12】	街中での中近距離移動を想定した1～2人乗りの小型電動カーなどを指す。軽自動車よりも小型の自動車やバイクを含めて「超小型モビリティ」とも定義される。
DX【P 13】	デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略称で、デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること。「DX」の「X」はTransを略した表記である。
スマートファクトリー【P 15】	IoT・ビッグデータ・AI・ロボットを活用し、エンジニアリングチェーンやサプライチェーンをネットワーク化・最適化・自動化したもののづくりのスマート化に取り組む工場。
AIターミナル【P 16】	大型コンテナ船の寄港の増加による荷役時間の長期化や、コンテナターミナルのゲート前渋滞の深刻化に対応するため、ゲート処理及びターミナル内荷役の効率化を図る取組。
次世代モビリティ【P 16】	環境性能に優れた自動車（燃料電池自動車や電気自動車、天然ガス自動車など）や空飛ぶクルマ、ドローンなどを指す。
Park-PFI【P 17】	官民連携手法の導入により、都市公園の管理運営の効率化と魅力向上を両立する手法や取組。
グリーンインフラ【P 18】	自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。
ブルーカーボン【P 18】	海藻などにより、海域で吸収・貯留されている炭素。
脱炭素化【P 18】	低炭素化とは、主要な温室効果ガスであるCO2排出量を1990年に比べて70%削減すること。 脱炭素化とは、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることであり、2050年の実現が目標。
カーボンニュートラル【P 18】	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。
P T P S【P 19】	公共車両優先システム（Public Transportation Priority System）の略称で、交通管理者の交通管制システムとバス事業者のバスロケーションシステムとを有機的に結合した新たな公共車両優先システム。
M a a S【P 20】	Mobility as a Serviceの略称で、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済などを一括で行うサービス。

本ビジョン中の図・写真等の出典一覧

本ビジョン中の図及び写真等について、出典の記載があるものについては以下の資料・ホームページ等から引用しております。なお、出典の記載がないものについては、区が作成・撮影等を行ったもの、または本ビジョンの策定事業において購入したものです。

ページ	機関名	資料名等	URL	閲覧日
12	国土交通省	BRTの導入促進等に関する検討会資料	https://www.mlit.go.jp/common/001021380.pdf	2021年8月5日
12	大田区	大田区プレスリリース	https://www.city.ota.tokyo.jp/kuseijoho/press/release/R02/202009101.html	2021年8月5日
12	東京都	「都市づくりのグランドデザイン」	https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/keikaku_chousa_singikai/pdf/grand_design_05.pdf	2021年8月5日
12	横浜市	「公共空間活用の手引き」 (ヨコハマネイチャーウィーク)	https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/public-facility/kokyokukan/publicspace.files/ps_tebiki01.pdf	2021年8月5日
12	墨田区	すみだ産業情報ナビ Garage Sumida (ガレージスミダ)	https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/syuzai/ta60100020190.html	2021年8月5日
12	経済産業省	自動走行ビジネス検討会 資料 (令和3年3月5日)	https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/jido_soko/pdf/20210430_02.pdf	2021年9月2日
15	大阪産業局	「事業承継サポート」	https://www.obda.or.jp/jigyo/syoukei.html	2021年8月6日
16	鹿沼木工団地協同組合	かめま木工団地保育園現場写真	https://twitter.com/mokkodanchi	2022年2月1日
16	国土交通省	カーボンニュートラルレポートについて (令和3年3月)	https://www.kouiki-kansai.jp/material/files/group/15/0315dialogCNP.pdf	2021年9月3日
16	福島イノベーション・コースト構想推進機構	拠点概要-福島ロボットテストフィールド	https://www.fipo.or.jp/robot/overview	2021年7月7日
16	東京都港湾局	港湾審議会第2回長期構想検討部会「資料4-5」	https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/2siryou8.pdf	2021年9月3日
17	国土交通省	「令和2年度PPP/PFI推進説明会」資料	https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001329492.pdf	2021年8月13日
17	天王洲・キャナルサイド活性化協会	天王洲・キャナルサイド活性化協会ホームページ	http://canalside.or.jp/	2021年12月15日
18	国土交通省中部地方整備局	国土交通省中部地方整備局ホームページ	https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/oshirase/oshirase/20170806yadagawa/index.html	2021年12月10日
18	海上保安庁	東京湾環境一斉調査	https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/	2021年8月13日
18	国土交通省	グリーンインフラポータルサイト	https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_fr_000143.html	2021年8月5日
18	経済産業省	「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」広報資料	https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201225012/20201225012.html	2021年8月13日
18	環境省	「脱炭素化に向けた水素サプライチェーン・プラットフォーム」	https://www.env.go.jp/seisaku/list/ondanka_saisei/lowcarbon-h2-sc/demonstration-business/index.html	2021年8月13日
18	経済産業省	「循環経済ビジョン2020」概要版	https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200522004/20200522004-1.pdf	2021年8月13日
19	国土交通省	ストリートデザイン懇談会 第3回資料	https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001315303.pdf	2021年12月15日
19	国土交通省	「防災拠点等となる建築物の機能継続に関わる事例集」	https://www.mlit.go.jp/common/001292553.pdf	2021年8月13日
19,20	国土交通省	道路政策ビジョン 「2040年、道路の景色が変わる」	https://www.mlit.go.jp/road/vision/pdf/01.pdf	2021年8月13日
20	国土交通省	「日本版MaaSの推進」	https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/	2021年8月13日



大田区 まちづくり推進部 都市計画課
〒144-8621 大田区蒲田五丁目 13 番 14 号